

所報

<Shoho>

川崎市総合教育センター

〒213-0001 川崎市高津区溝口6-9-3

TEL 044-844-3600

代表メール KEI30201@to.keins.city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.keins.city.kawasaki.jp/>

《小学校・小学部の新しい学習要領全面実施の年に》

川崎市総合教育センター 所長 市川 洋



令和2年度は、「生き抜く力を育む」ための「主体的・対話的で深い学び」を柱とした新しい学習要領が、小学校や小学部で全面実施となりました。この趣旨の実現に向けて、各学校が研究や実践を積み重ね準備してきたところに、新型コロナウイルスの感染症拡大による学校の臨時休業が長期化するという予想外の幕開けとなりました。臨時休業期間中の家庭学習において、課題の作成・添削をはじめ、インターネットを利用した動画配信やTV会議システムを活用した学校との双方向通信の試行など様々な方法に意欲的に取り組んでいただきましたことに感謝申し上げます。

さて、学校が再開され、新型コロナウイルスの感染症の予防に細心の注意を払いながら、「主体的・対話的で深い学び」の本格的な実践が始められることとなります。新年度2カ月間学校での学習ができなかった分を履修させることのみには追われ、知識注入型の詰め込み学習に逆戻りはできません。「ゆとり教育」の時代に学習内容を精選し、他の教科・領域等の学習に応用した経験もあります。また、家庭学習でできることは引き続き行っていくことも大切になるでしょう。

この様な先の読めない社会で、「主体的・対話的で深い学び」は、課題を発見し、多様な疑問を持ちながら、「質問する力」を身につけ、解決への道筋をつけることのできる子どもたちを育成することに主眼があるといえます。今回の臨時休業をポジティブにとらえ、学校教育を発想転換するチャンスが来たと考えていきたいと思っています。

自分自身が中学校時代、授業で疑問を持った時に、みんなで職員室まで先生を追いかけて行き、質問攻めにしていたことを思い出します。こんな私たちの質問に先生方は真剣に答え、可愛がってくれました。そんな先生方と学習することが楽しくて、学校が楽しくて仕方ありませんでした。

学習には「こういう場面では、こうすればよい」という状況を認知し、反復して「習う」という側面がある一方で、「質問する力」を土台にして、「とにかくやってみる」という試行錯誤をして身につけるという側面があります。試行錯誤は、失敗を重ねながら、うまくいく方法を見つけ出し、失敗を恐れず、チャレンジ精神を持って学ぶ、いわゆる「慣れる」というもので、これからはさらにその重要性が着目されていくことでしょう。「習う」と「慣れる」をバランスよく組み合わせる学習し、実生活に活かしていくことも、「主体的・対話的で深い学び」には欠かせません。

AIの時代の到来が身近に感じられるようになり、質問すれば、AIが過去のデータ等を駆使して簡単に解決してくれるでしょう。そこで、私たちは人間にしかできない「質問する力」を磨き、ダイナミックに試行錯誤させる学習を進めていく必要があります。総合教育センターは、これからも未来の川崎のためにその役割を担っていきたいと考えております。

令和2年度『所報』第1号 主な内容

【巻頭言】小学校・小学部の新しい学習要領全面実施の年に	…………… 1	【特集】GIGAスクール構想の実現に向けて…………… 4・5	
カリキュラムセンター	…………… 2	特別支援教育センター	…………… 6
情報・視聴覚センター	…………… 3	教育相談センター	…………… 7
		研究推進校一覧	…………… 8

カリキュラムセンター 事業・業務

目 標

- 1 学習指導要領に基づく教育課程の編成や教育活動の円滑な実施に向けた指導・支援の充実
- 2 教育課題への対応、施策研究、調査・基礎研究、教育実践に資する研究等の推進
- 3 教職員の資質や指導力の向上を目指した研修の充実と研修推進体制の整備
- 4 各教科研究会等との関連事業や各種教育課題関連事業等の円滑な推進
- 5 所管業務の効率的な執行

事業・業務

これからの時代を担う子どもたちに確かな学力など「生きる力」を育みます。そのために、学習指導要領、かわさき教育プラン等を踏まえて、教育諸課題に係る研究を行うとともに、研究成果をもとに、教員の資質・能力を高め、学校の指導体制を構築します。

教育研究

教員研修

学校支援

1 学習指導要領に基づく教育課程の編成や教育活動の円滑な実施に向けた指導・支援の充実

- ・拡大要請訪問・要請訪問の実施
- ・教育課程研究会・各教科等研究協議会の開催及び教育課程編成
- ・学習指導に係る指導資料の作成（新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価の充実）
- ・習熟の程度に応じたきめ細やかな指導の研究及び支援

具体的な事業・業務

目標の1～5を掲げ事業・業務の充実を図ります。

2 教育課題への対応、施策研究、調査・基礎研究、教育実践に資する研究等の推進

- ・学校教育に関する調査・基礎研究（指導主事による研究等）
- ・各学校の教育実践に資する研究の推進（長期研究員研究、指導主事と研究員による研究等）
- ・PC 端末を用いた学習指導に係る研究
- ・教育研究所連盟等に係る業務の円滑な推進

3 教職員の資質や指導力の向上を目指した研修の充実と研修推進体制の整備

- ・必修・希望研修の充実（教員育成指標に基づく研修の充実、「学び続ける教員」の育成と「働き方、仕事の進め方」の観点の両面からの研修の充実と見直し等）
- ・川崎市の教員を目指す大学生等に向けた「かわさき教師塾『輝け☆明日の先生』」の開講
- ・指導改善研修の充実

4 各教科研究会等との関連事業や各種教育課題関連事業等の円滑な推進

- ・学校経営に係る教育課題への対応（川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査、研究推進校事業、研究研修支援講師派遣事業等）
- ・各教科等に係る教育実践への対応
- ・各種教育課題に対する事業
- ・人権尊重教育の推進

5 所管業務の効率的な執行

- ・各種指導事務の円滑な推進
- ・各種事業の基盤としての所内業務等の円滑な推進と働き方・仕事の進め方の改革
- ・横浜国立大学との連携

GIGA スクール構想推進

- ・「一人1台端末」を効果的に活用した学習指導等に関する研究及び教員の指導力向上
- <研究指定校での研究・授業公開>
- <実践事例の紹介>
- <教員研修の実施>

重点的に取り組む事業・業務

重点事業を設定し、チームで解決にあたります。

学力調査分析・活用

- ・全国学力・学習状況調査、市学習状況調査の適切な分析と効果的な活用についての研究及び改善実施
- <報告書作成>
- <授業改善説明会の実施>
- <議会、報道発表(全国)>
- <学校報告書作成支援(全国)>

高等学校改革

- ・高等学校学習指導要領の全面実施及び高校改革2次計画の推進に向けた研究及び学校支援
- <新教育課程説明会の実施>
- <授業改善、評価改善の研究>
- <教員用資料作成、教員研修実施>

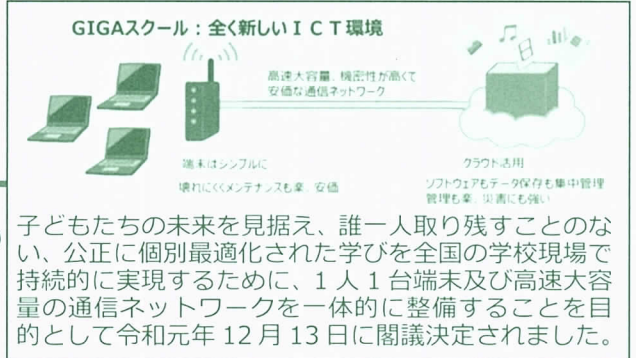
妥当性・信頼性のある学習評価

- ・身に付けさせたい力を明確にし、適切な目標、授業展開のもと、妥当性、信頼性のある学習評価の実施に向けた研究及び学校支援
- <「小・中学校の学習評価の考え方及び指導要録の記入」冊子の作成>

学び続ける教員の育成

- ・校内で教員を育てるOJT及び自ら目的をもって学び続ける研修の構築、教員のキャリア形成に係る研究及び研修の実施
- <川崎市教員研修計画の策定>
- <校内OJTの研究>

「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」を基にした事務事業に取り組みます。



子どもたちの未来を見据え、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現するために、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することを目的として令和元年12月13日に閣議決定されました。

＜方針1＞

情報活用能力のさらなる育成と各教科等の指導におけるICT活用

既存のICT機器に加えて、今後のGIGAスクール構想^{*1}により導入される1人1台端末の活用や教員のICT指導力の向上、児童生徒の情報活用能力の育成を図るためのカリキュラムの開発に向けて研究を進めていきます。

- ・「5分でわかる情報教育Q&A」^{*2}の活用等
- ・市立学校インターネット問題相談窓口の運営
- ・「川崎市版保護者向けインターネットガイド」^{*3}の作成・活用推進
- ・長期研究員と研究員による研究「ICT活用研究会議」
- ・教育情報化推進モデル校での検証
- ・SAINS-Web等ネットワーク活用による情報発信の充実



*1 GIGAスクール構想



*2 5分でわかる情報教育Q&A

＜方針2＞

子どもたちの学びを支えるICT環境の充実

- ・GIGAスクール構想による校内無線LAN等整備
- ・小・中・高・特別支援学校 教育用機器整備
- ・校務用コンピュータ整備
- ・教育情報化推進モデル校での実証研究
- ・学校Webページの新規・更新・充実への支援（テンプレート活用・ウェブアクセシビリティへの配慮）
- ・システムやネットワーク端末の最適化のための調整・検討
- ・情報セキュリティポリシーの運用の検討・周知
- ・校務支援システム、高等学校学務システムの円滑な運用



*3 川崎市版保護者向けインターネットガイド

＜方針3＞

教育の情報化を推進する上での支援体制の充実

- ・学校情報セキュリティポリシー運用
- ・研修等の実施
 - 情報セキュリティ及び情報モラル教育研修
 - 学校ホームページ個別対応研修
 - リクエスト研修 他
- ・PDCAサイクルによる推進計画の進捗管理・調整
- ・「学校情報化認定」^{*4}活用による定量的な評価での改善



*4 学校情報化認定

視聴覚センター事業の推進 その他

- 視聴覚ライブラリーの運営
- 「わが町かわさき映像創作展」の充実
- 平和・人権教育教材の整備
- 教育情報データベースの充実
- 各種会議の充実

特集！

情報・視聴覚センター

GIGAスクール構想の実現に向けて

GIGAスクール構想とは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、Society5.0時代に生きる子どもたちの未来を見据え、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現するために、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することを目的として、令和元年12月13日、閣議決定されたものです。情報・視聴覚センターでは、このGIGAスクール構想の実現に向けて、準備を進めているところです。



なぜ、GIGAスクール構想が打ち出されたのですか？

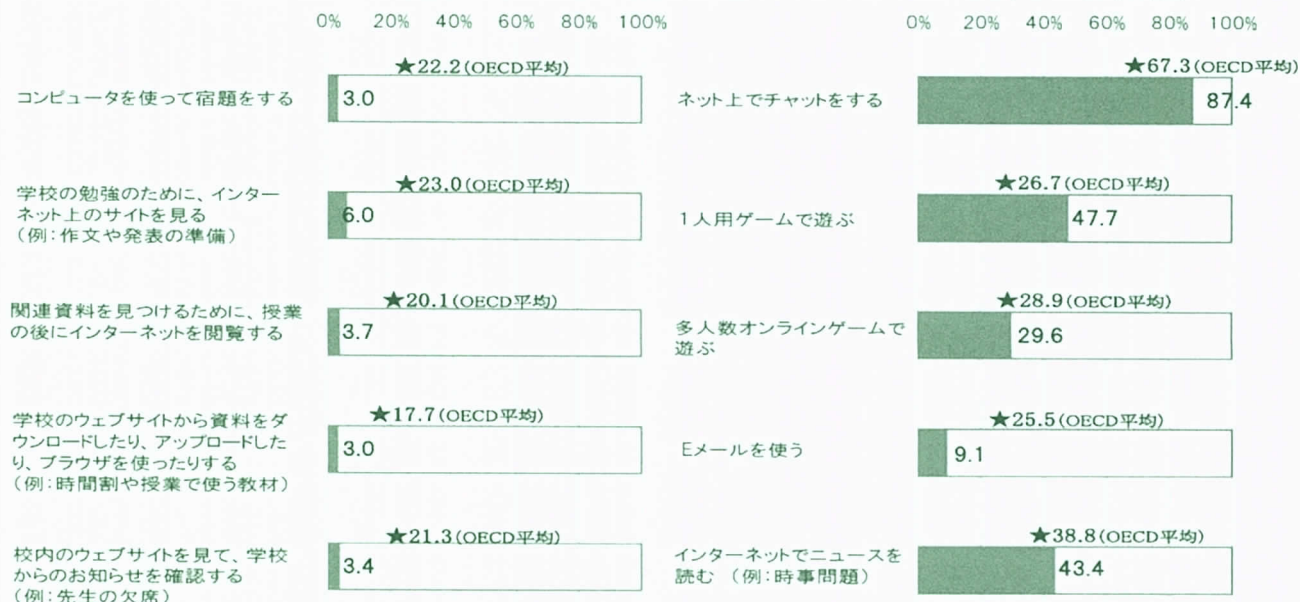
Society 5.0時代に生きる子供たちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所で ICT の活用が日常のものとなっています。社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に取り残され、世界からも遅れたままではられません。(令和元年12月19日 文部科学大臣メッセージより一部抜粋)

文部科学大臣のメッセージにもあるように、日本は諸外国に比べて学習にICTを活用していない、ということがPISA調査でも明らかになりました。コンピュータ使用型調査になってから読解力が有意に低下しているところにも、ICT活用が複合的に影響した可能性があるかとされています。そして、ICTを活用することで育まれる力として、情報活用能力があります。

新学習指導要領総則編の中で、情報活用能力は、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられ、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実が明記されました。小・中・高等学校を通じたプログラミング教育の充実も示されています。

日本の子供達は、学習にICTを活用していない

● 学校外での平日のデジタル機器の利用状況 (青色帯は日本の、★はOECD平均の「毎日」「ほぼ毎日」の合計)



出典 OECD生徒の学習到達度調査 (PISA2018) 「ICT活用調査」 10



1人1台端末が実現すると、どのような学びが可能になりますか。 1人1台端末を活かして、すぐに授業ができるか心配です…。

これまで川崎市には、研究推進校の研究や実践事例集など優れた教育実践がたくさんあります。その蓄積と最先端のICTのベストミックスを図ることで、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すことが可能になり、学習活動の一層の充実、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善につながります。

これまで	これまでの教育実践の蓄積 × ICT =	学習活動の一層充実 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	これから
「1人1台端末」ではない環境		「1人1台端末」の環境	
一斉学習 ・教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる	学びの深化	・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる → 子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に	
個別学習 ・全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）	学びの転換	・各人が同時に別々の内容を学習できる ・各人の学習履歴が自動的に記録される → 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に	
協働学習 ・グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい（積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に）		・一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる ・各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる → 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる	
「1人1台端末」の活用によって充実する学習の例		これからの学習はこう変わる	
<ul style="list-style-type: none"> ☑ 調べ学習 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、記事や動画等の様々な情報を主体的に収集・整理・分析 ☑ 表現・制作 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作 ☑ 遠隔教育 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び ☑ 情報モラル教育 実際に真偽様々な情報を活用する各場面（収集・発信など）における学習 		1	

文部科学省が示した『「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びの変容イメージ』も3つのステップが示されています。まずは、ステップ1のように、検索サイトを用いたり、文章を作成したりといったところから始め、ステップ2、ステップ3と学びの可能性を広げていけるようにします。

▲▼文部科学省「GIGA スクール構想の実現について」令和2年3月19日

「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びの変容イメージ

工夫次第で、
学びの可能性は無限大に。

例えば…

- ・理科の授業で、観察・実験の際に、動画撮影で、振り返りやより詳細な分析が可能。
- ・社会の授業で、各自で収集した様々なデータや地図情報をPC上で重ね合わせて深く分析。

ステップ3
教科の学びをつなぐ。
社会課題等の解決や一人一人の夢の実現に生かす。

例えば…

- ・検索サイトを用いて、授業テーマに応じて一人一人が様々な文章や動画を収集し、情報の真偽を判断し、整理する。
- ・一人一人が文章作成ソフトを活用し、推敲を重ねて長文のレポートを作成する。

ステップ2
教科の学びを深める。
教科の学びの本質に迫る。

ステップ1
“すぐにでも”どの教科でも
“誰でも”活かせる1人1台端末



1人1台端末が来るまでに準備しておくことは？

今、各学校にある端末を使って先生方が端末に慣れることや、情報モラルなどをしっかりと指導できるようにしておくとよいです。情報・視聴覚センターでは、「5分でわかる情報教育Q&A（第13版）」を発行しています。ぜひ活用ください。現在、総合教育センターホームページ上に掲載しており、これから各学校に冊子を配付する予定です。



特別な教育的ニーズのある子どもの相談や支援の充実



特別な教育的ニーズのある子どもやその保護者、学校への適切な相談と必要な支援を行います。

一般教育相談

学習面、行動面、対人面などについての教育相談を行っています。子ども一人ひとりの教育的ニーズについて考えていきます。

就学・入級・進学相談

学校・療育相談機関等と連携しながら保護者の意見、専門家の意見を聴き、適切な学びの場を決定していきます。

就学相談フォローアップ

学校コンサルテーション

学校の特別支援教育に関する支援の充実

インクルーシブ教育システムの構築を理念に、各学校の「児童生徒を支援する力」をさらに支えるよう各事業を推進します。

校内支援体制づくりの支援

- 特別支援（児童支援）コーディネーター連絡会議

コーディネーターの資質向上

- コーディネーター養成研修
- 特別支援教育Ⅰ「コーディネーター専門」

学校への支援

- 通級指導教室センター的機能担当による学校支援
- 特別支援学校地域支援部による学校支援
- 専門家活用事業
- 巡回相談員の派遣
- 高等学校支援員の派遣



特別支援教育に関わる研修の充実

校内研修として、指導主事等の派遣や講師紹介など、充実した校内研修の実現に向け学校を支援していきます。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、希望研修は中止になりました。研修の方法を工夫し、先生方の研修機会の充実に努めます。

必修研修

- 特別支援学級等新担任者研修
- 特別支援学級等新担任者 2年目研修
- 通級指導教室新担当者等研修
- コーディネーター養成研修



希望研修

- 特別支援教育Ⅰ（中止）
「コーディネーター専門」
- 特別支援教育Ⅱ（中止）
「重度の障害がある子への支援」
- 特別支援教育Ⅲ（中止）
「きこえや見え方に課題のある子への支援」
- リクエスト研修

第2期川崎市特別支援教育推進計画の計画的実施

合理的配慮を視野に入れた、校内外における「サポートノート」（個別の教育支援計画、個別の指導計画）の理解啓発と普及、活用を図ります。

特別支援教育に関わる研究の充実

指導主事研究

特別支援学級における教育課程の編成について

長期研究員による研究

特別支援学級における個別の指導計画に基づく1人1台端末の活用～自ら学ぶ意欲を育む学習の個別最適化を目指して～

教育相談センター 事業・業務

教育相談

電話相談[対象：小・中・高・特]

- 電話相談（教育一般）
- 子ども専用電話相談
- 24時間子供 SOS 電話相談
相談者の名前や学校名を尋ねることはありませんので気軽に相談できます。24時間いつでも相談できる「24時間子供SOS電話相談」もあります。

来所面接相談[対象：小・中・高]

- 溝口相談室
- 塚越相談室
心理臨床相談員との面接相談です。予約制となりますので、電話での申し込みが必要です。

スクールカウンセラー配置[対象：中学校]

スクールカウンセラーを市立中学校全校に配置（年間280時間）し、いじめ、不登校、などの未然防止・早期発見・早期解決に向けて相談活動を行います。

学校巡回カウンセラー派遣 [対象：小学校・特別支援学校・高等学校]

- 小学校・特別支援学校
「学校で心理専門のカウンセラーに相談したい。」という保護者に対して、学校巡回カウンセラーを学校に派遣し、相談活動を行います。
- 高等学校
市立高等学校（5校）へ週1回程度、定期的に派遣し、相談活動を行います。

教育相談研修

○教育相談の考えを生かしながら、支援・指導することができる教員を養成するための研修を実施します。

- リクエスト研修
- 教育相談研修会
- 教育相談研修講座（中止）
- 特設研修（中止）
- 児童支援コーディネーター研修

不登校児童生徒への支援

ゆうゆう広場（適応指導教室） [対象：小学校・中学校]

- みゆき ○さいわい ○なかはら
 - たかつ ○たま ○あさお
- 心理的な理由や、様々な事情から学校に行けない子ども達を対象にし、小集団による体験活動などを通して状態の改善を図ります。

不登校家庭訪問相談 [対象：小学校・中学校]

学校に行けない、あるいはほとんど外出できない状態の子どもを対象にした相談です。家庭訪問相談員が家庭を訪問し、子どもや保護者との相談を行います。

ICTを利用した支援

ゆうゆう広場、不登校家庭訪問相談を利用している児童生徒の中で、希望者にICT環境を利用したオンライン学習サービスを提供し、相談支援をします。

不登校対策連携会議

不登校対策に関わる施設や関係機関との連携を強化し、不登校児童生徒への支援の充実を図ります。

不登校児童生徒・高校中退者のための 不登校相談会・進路情報説明会

中学校卒業後の進路情報提供及び、個別相談を行っています。【9・19（土）高津市民館】

研究

○いじめや不登校を生まない学級づくりや教育相談の視点を生かした支援の在り方など、学校での教育活動に生かせる研究を行います。

- 長期研究員と研究員による研究
- カウンセラー研究員による研究

令和2年度 教育委員会研究推進校一覧

令和2・3年度 小学校各教科等

校種	研究教科等	学校名 (区)	担当者
小	国語	日吉小学校 (幸区)	伊藤(悦)
小	社会	南百合丘小学校 (麻生区)	鶴木
小	生活・総合	南菅小学校 (多摩区)	石井
小	体育	新町小学校 (川崎区)	門口
小	特別活動	東高津小学校 (高津区)	高橋

令和2・3年度 中学校各教科等・教育課題

校種	研究教科等	学校名 (区)	担当者
中	国語	宮崎中学校 (宮前区)	伊藤(悦)
中	社会	稲田中学校 (多摩区)	鶴木
中	数学	川崎高等学校附属中学校 (川崎区)	松本
中	理科	川崎高等学校附属中学校 (川崎区)	吉田
中	音楽	金程中学校 (麻生区)	伊藤(由)
中	美術	東橋中学校 (高津区)	長澤
中	保健体育	中原中学校 (中原区)	門口
中	技術・家庭	宮内中学校 (中原区)	望月 越
中	外国語 (英語)	枅形中学校 (多摩区)	鬼頭
中	道徳	柿生中学校 (麻生区)	岡部
中	総合	南生田中学校 (多摩区)	石井
中	特別活動	橋中学校 (高津区)	高橋
中	教育課題1 (食育)	犬蔵中学校 (宮前区)	越
中	教育課題2 (平和教育)	南大師中学校 (川崎区)	石井 松浦

令和2・3年度 人権尊重教育

校種	研究教科等	学校名 (区)	担当者
小	人権尊重 教育	久地小学校 (高津区)	北所
中		西高津中学校 (高津区)	
中	人権尊重教育 (多文化共生教育)	富士見中学校 (川崎区)	福岡

令和元・2年度 小学校各教科等

校種	研究教科等	学校名 (区)	担当者
小	国語	東生田小学校 (多摩区)	伊藤(悦)
小	社会	井田小学校 (中原区)	鶴木
小	算数	南加瀬小学校 (幸区)	松本
小	理科	南生田小学校 (多摩区)	吉田
小	生活・総合	平間小学校 (中原区)	石井
小	音楽	有馬小学校 (宮前区)	伊藤(由)
小	体育	柿生小学校 (麻生区)	門口
小	外国語活動	苅宿小学校 (中原区)	齋藤
小	道徳	東小倉小学校 (幸区)	岡部

令和元・2年度 教育課題

校種	研究教科等	学校名 (区)	担当者
特支	特別支援 教育	中央支援学校 (高津区)	盛光

令和元・2年度 高等学校

校種	研究教科等	学校名 (区)	担当者
高	教育課題 高校教育	川崎総合科学高等学校 (幸区)	山中

令和元・2年度 異校種間連携教育

校種	研究教科等 (区)	学校名 (区)	担当者
高	中高連携教育 (川崎区)	川崎高等学校 川崎高等学校附属中学校	山中
高	高大連携教育 (中原区)	橘高等学校	山中

令和2年度 キャリア在り方生き方教育

校種	研究教科等	学校名 (区)	担当者
小	キャリア 在り方生き方 教育	久本小学校 (高津区)	安齋 吉田
中		菅生中学校 (宮前区)	
中		菅中学校 (多摩区)	

令和2年度 小中連携カリキュラム開発研究

校種	研究教科等	学校名 (区)	担当者
小・中	小中連携・ 一貫教育	はるひ野中学校 はるひ野小学校 (麻生区)	鈴木
小・中		南生田中学校 南生田小学校 (多摩区)	